

## 日中共同研究「中国当代史研究」ワークショップ（東京）報告者募集のお知らせ

中国当代史に関する日中共同研究ワークショップが2018年12月に、東京で開催されることになりました。この共同研究によるワークショップは、第1回（2012年7月上海）、第2回（2013年12月京都）、第3回（2014年12月上海）、第4回（2015年12月京都）、第5回（2016年12月上海）、第6回（2017年12月上海）に引き続き、今回が第7回となります。

これまでワークショップでは報告者を公募して参りましたが、第7回の開催にさいしても、若手の報告者を公募することになりました。下記の応募要項を御参照の上、積極的に応募して下さい。お待ちしております。

会の趣旨とこれまでの開催回については、それぞれ下記をご参照ください。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~rcmcc/dangdaishi.htm>（趣旨説明）

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~rcmcc/dangdaishi5.htm>（第1～5回）

<http://www.tbcas.jp/ja/20171202WS.pdf>（第6回）

2017年12月8日

「日中共同研究 中国当代史研究」日本側世話人会（石川禎浩、小野寺史郎、久保亨、中村元哉、村田雄二郎）

### 記

1. 会議日程・場所：2018年12月1日（土）、2日（日） 東京（東洋文庫）
2. テーマ：「1950-70年代の中国」
3. ワークショップ構想：1950-70年代の中国政治・外交・経済・社会・文化・思想に関するセッション等を設ける予定です。  
口頭での報告時間は15-20分、それに引き続きコメント・討論が30分程度です。
4. 募集人員：2名程度
5. 応募資格：応募時点で、以下のいずれかに相当する方。
  - （1） 国内の大学や研究機関に所属するPD 研究員・非常勤講師等。
  - （2） 国内の大学や研究機関に在籍する博士課程大学院生。
6. 経費負担：会議期間中の宿泊費（3泊まで）と国内移動にかかる交通費。
7. 使用言語：中国語（通訳なし。中国語での報告、討議をお願いします）。
8. 応募期間：2017年12月8日（金）～2018年2月28日（水）（締切厳守）
9. 応募書類：
  - （1） 氏名、所属、連絡先（メールアドレス、住所、電話番号）
  - （2） 報告テーマと報告要旨（日本語1200字程度で、主な論点、構成、史料などを説明するもの）
  - （3） 主要業績一覧（書式随意）
10. 応募方法：応募書類をメールにより世話人会（中村 motoya[at]tsuda.ac.jp）に送信。
11. 選考方法：世話人会による審査の上、決定。
12. 結果発表：2018年3月末日までにメールで通知。
13. 準備報告：事前に研究会での準備報告をお願いすることがあります。
14. 報告論文：報告論文（中国語）をワークショップ前に提出してもらいます  
（中国語換算1万字程度〔本文と注を含む〕。2018年10月末提出締切）。
15. 問合せ先：世話人会（村田 murata[at]ask.c.u-tokyo.ac.jp）。

以上